

## 取組み(功績)の概要 『乗合タクシーを導入して交通空白地域を解消し、同じ経費で市民生活の質向上を実現』

既存の路線バス、患者輸送車、福祉バス等の見直しや、乗合タクシーの導入で、地域の公共交通を抜本的に再編した。地域間の移動は路線バス、地域内の移動は予約型乗合タクシーと役割分担し、交通空白地域を解消した。市町村合併前の各市町村の交通対策予算と同等の額で、高水準の交通施策を実現し、飛躍的な効果を上げた。アンケートや広報取材等で、市民が生活の質の向上を実感していることが明らかになった。

### 事業内容

#### 1. 幹線路線バスを維持し、予約型の乗合タクシーの運行

・6町村が合併し、別々であった政策を計画策定から再編・統一を図り、広域移動を可能にする幹線路線バス2系統と、そこに接続する「予約型乗合タクシー」の連携によって、交通空白地域を解消。



#### 2. 導入前と同等程度の経費で飛躍的な成果

- ・乗合率を高め、効率的な運行システムを目指すとともに、ほぼ同じ経費で大幅なサービスアップを実現。
- ・運賃(無料~100円→300円)を値上したが、年間の利用者数は増加しており、目標も達成している。

#### 3. 乗合タクシーの利用促進

- ・住民との対話を重要視し、現在に至るまで90回を超える住民説明会を実施。
- ・市内の主な病院や商業施設(29カ所)を訪問しポスター掲示や利用者のサポート(予約代行等)を依頼するなどの取組を実施。



広報やめH23.10月号

#### 4. 市民が生活の質の向上を実感

- ・平成23年8月の市民アンケートで、利用者の80%が「暮らしが便利になった」、38%が「外出機会が増えた」と回答。市民に交通空白解消と生活の質の向上を実感していただいた。
- ・平成24年7月の九州北部豪雨で幹線道路が寸断され、路線バスが運休した時も、乗合タクシーは1日も休まず運行し、災害にも強く市民生活の安心安全を支える乗り物としても高評価を得ている。